

力を合わせ次代の扉を拓く

自民党誠心会 県政報告

第9号

2020年
11月号



“アフターコロナ”の県土づくりに挑戦

先の第202回国会において、第99代内閣総理大臣に自由民主党の菅義偉総裁が選出されました。

新型コロナウイルス感染症という未曾有の災禍と経済危機の中で、さっそく「既得権益、悪しき前例主義、縦割り行政の打破」を掲げてスタートしました。

本県においては、「ウイルス感染症拡大」対策に長崎知事の強力なリーダーシップのもとに「やまなしグリーン・ゾーン認証制度」を創設し総力を挙げて奮闘しております。

県議会最大会派である、私たち「自民党誠心会」は、二元代表制の原則に立ち、長崎執行部と車の両輪となって「ウイズコロナ・アフターコロナ」の新時代における県民生活の向上に更なる前進を続けて参ります。

自民党誠心会代表 皆川 巖

